

松江市立八束小学校 心に残る文化財子ども塾

6月25日(水)には、松江市立八束小学校に伺いました。6年生36名の参加です。時間は90分。流れとしては、はじめに「奈良時代の出雲国と八束町」について、『出雲国風土記』に記されている様子を中心に紹介しました。「ダイコン島」の旧名が「タコ島」であるなど、身近な話題には関心の度合いが違います。また、「奈良の大仏の実物大パネル」の組み立てを体験してもらい、実際の奈良の大仏がどれ程の大きさなのか、身をもって感じてもらいました。



▲ 奈良時代の八束町域について学習です



▲ スタートはこんな状態から



▲ 完成！思い思いの場所で大きさを体感



▲ 開眼の菩提僊那^{ぼだいせん}をしたい子がたくさん！

【学習後の感想】

- ・大仏がすごく大きかったこと。作るのがすごく楽しかったです。
- ・質問コーナーでいろいろ知らなかったことが知れたのでよかったです。
- ・大仏をつくる時に事故があったなんて知らなかったです。
- ・もっと八束の事を知りたいです。

松江市立八束小学校6年生の皆さん、先生方、ありがとうございました。